

スリランカ ディサナヤケ大統領訪日関連行事について



◆ディサナヤケ大統領（中央右）と記念撮影に臨む小林委員長（中央左）

主要行事

日程	活動内容	場所
9月26日（金）	ビジネスフォーラム スリランカ・日本ビジネス協議会との夕食懇談会	大阪
9月27日（土）	万博ナショナルデー記念式典 夕食レセプション	大阪
9月29日（月）	ビジネスフォーラム（※）	東京

○[スリランカ民主社会主義共和国アヌラ・クマラ・ディサナヤケ大統領が9月27日～10月1日の日程で大阪・関西万博公式賓客として就任後初めて訪日](#)。9月29日には、東京で「スリランカ・ビジネスフォーラム」が開催された。

○本フォーラムは、日本側から日本・スリランカ経済委員会の小林文彦委員長や大串正樹経済産業副大臣、日本貿易振興機構（JETRO）の石黒憲彦理事長、磯俣秋男駐スリランカ大使ら、スリランカ側からディサナヤケ大統領やセイロン商工会議所のクリシャン・バレンドラ会頭らが出席。総勢約150人が参加し、大統領による投資環境整備などの話に耳を傾けた。

○大串経産副大臣は冒頭挨拶で、経済産業省がJETROと共に策定した[「輸出志向型産業回廊構築に向けたロードマップ」](#)を紹介するとともに、二国間の次官級経済政策対話を再開する意向を表明した。

(※) スリランカ・ビジネスフォーラム（東京）

主催/共催 ジェトロ、駐日スリランカ大使館、経済産業省、日本・スリランカ経済委員会、スリランカ投資庁 後援 国際協力機構（JICA）



小林委員長は、ディサナヤケ大統領のもと経済改革が進んでいることに触れ、「マクロ経済の安定化など経済回復の継続が見込まれており、中長期的な安定成長にさらなる期待が集まっている」と説明。また、「スリランカはインド洋の要衝であり、その発展は地域の安定と繁栄に不可欠である」と重要性を強調し、「日本の経済界としても官民が連携してオールジャパンでスリランカの経済・社会の発展、ひいてはインド太平洋地域の平和と繁栄に向けて注力したい」と力を込めた。

ディサナヤケ大統領は、2022 年の経済危機からの回復状況に触れた上で「スリランカは国際的な生産ラインの中にあり、地政学的に優位な場所に位置する」と説明。また、クリーンで透明性のある政治体制を確立することが外国からの直接投資につながるとし「サプライチェーンの選択肢を多様化したい日本企業にとって理想的な市場である」と、日本企業の投資を呼び掛けた。



石黒理事長は、スリランカは 2022 年の経済危機について「ジェトロの調査では 75%の企業が営業利益の改善を予測。外貨準備高の回復により自動車輸入が再開されるなど、経済の好転が見られる」と説明。また、日本企業のサプライチェーン強靱化やスリランカのグローバルサプライチェーンへの参画を後押しする、スリランカとインドにまたがる輸出志向型産業回廊構想について触れ「今後も日本企業のビジネス、そしてスリランカの発展に向けて共に歩む」と締めくくった。

大串経産副大臣は、スリランカはTICAD9で発表された“インド洋・アフリカ経済圏イニシアティブ”の中核に位置するとし「今後さらなる注目が高まる中、スリランカへの投資を促進すべく、ジェトロと共に“輸出志向型産業回廊構築に向けたロードマップ”を策定した」と明かした。また、スリランカにおけるビジネス環境改善に向け、二国間の次官級経済政策対話を再開する意向を表明。「両国間で解決策を模索し、更なる投資の促進につなげたい」と期待を寄せた。



ウィジャヤスーリヤ大統領上級顧問（デジタル経済担当）は、スリランカのデジタル経済の推進に向けた国家戦略について、戦略的優先事項を説明。その上で、スリランカのデジタルトランスフォーメーション（DX）や人工知能（AI）分野における成長機会を強調し、「スリランカをデータセンター開発の地域拠点として位置付けていきたい」と意気込みを語った。

経産省島野南西アジア室長は、スリランカに近接するインド等の巨大市場を活かした域内貿易の促進、スリランカのグローバルサプライチェーンへの組み込みを目指した“輸出志向型産業回廊構築に向けたロードマップ”を発表し、「スリランカは、インドの巨大市場を活かし、電子電機、鉱物資源、ゴムなどのセクターで強みを発揮できる」と説明。その上で、産業回廊の構築における課題としてインフラ改善や自由貿易協定の改善等を挙げ、「まずは2016年以来開かれていない日スリランカ間の次官級経済政策対話を再開させたい」と力を込めた。



セイロン商工会議所クリシャン会頭は、「日本企業は製造業や自動車、電子機器等の分野において、スリランカで強い存在感を示している。今後はアパレルや農産物輸出、再生可能エネルギーなど新分野で協力を拡大していきたい」と期待を寄せた。また、スリランカにおける各国とのFTAや貿易優遇措置を強調し、「安定しつつある政策環境と相まって、スリランカは日本企業にとって信頼できる戦略的パートナーシップを提供できる」と説明した。

また、当日は伊藤スプリング製作所の川嶋社長、トスランカの田中工場長から現地での事業展開について講演があったほか、デジタル経済担当大統領上級顧問のハンス・ウィジャヤスーリヤ氏、スリランカ投資庁ジャパデスク担当アシスタントディレクターのアルニヤ・ディ・シルワ氏より投資環境等について紹介があった。

以上